

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52431	児童文化 Literature for Children	藤井 弓子 中西 由香里	✓	専門	1	必修	2年前期

**科目の概要**

児童文化財をとおして、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を体系的に修得し、実践力を養うことを目的とする。実際に人形やパネルシアターを制作し演じ方の技術を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 児童文化財について 概観する。 ② シナリオづくりのため 昔話の特徴を理解する。 ③ 児童文化の基本的な知識を身に付け、人形劇・パネルシアター等の意義と指導方法を理解する。 ④ 制作と演じ方の実演を体験する。	① 子どもの発達段階を 理解し児童文化財について説明することができる。 ② 昔話の特徴を説明することができる。 ③ パネルシアターのシナリオ、人形劇の制作計画を提案することができる。 ④ 児童文化を保育へ展開するための知識を修得し、人形劇やパネルシアターを制作することができる。 ⑤ 人形劇・パネルシアターを演ずる 技術を身に付け、発表することができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発言や演習など積極的に関わることができること。また、技術修得のために自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	失敗を 恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	多くの児童文化財に触れ 学んだ 知識や 情報を 活かし、発達年齢にあった児童文化財を選ぶことができる。
	計画力	制作計画表に記入した期限を守り制作できる。
	創造力	作品 を作り上げる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力量を身に付けることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかり易い発表 声の大きさ・話す速さ・話す内容が整理されている ができる。
	傾聴力	相手の 話す意見に 共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べる ことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト「人形のつくり方と脚本」子どもと文化研究会 編 発行 必要に応じてプリント配布する  
 テキスト「新時代の保育双書保育内容ことば第3版」赤羽根有里子・鈴木穂波編 みらい

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：保育内容「言葉」保育内容「表現」  
 資格との関連：保育士 幼稚園教諭

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から児童文化財に関心を持つよう心がけると良い。</li> <li>授業内での講義、演習、随時課される課題に対応できるようにテキストやプリント等に目を通しておくこと。</li> <li>欠席をすると制作作業が遅れるため留意すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内で指示したパネルシアターの資料等、大学図書館や公共図書館等で借り持参すること。</li> <li>携帯電話の電源は切りカバンに入れておくこと。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	35	①	✓	・人形劇「なかよし」の実践力を確認するために成果発表をする。(20点) ・パネルシアターの実践力を確認するために成果発表をする。(15点) 習得技術で評価する。		
				②				
				③				
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	
							⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		25		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
社会人基礎力(学修態度)		10		①	✓			
				②				
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・子どもの発達段階を理解し児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。① ・昔話の「語法」を理解し特徴を説明できる。② ・パネルシアターのシナリオ、人形劇の制作計画を提案することができる。③ ・児童文化を保育へ展開するための知識を修得し、作品にしかけがあり工夫が見られる。④ ・人形劇・パネルシアター等の意義を理解したうえで、表現方法を身に付け発表することができる。⑤ S(秀)①②③④⑤、A(優)①②③⑤	・児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。① ・昔話の特徴を説明できる。② ・パネルシアターのシナリオ、人形劇の制作計画を提案することができる。③ ・作品に工夫が見られること。④ ・人形劇・パネルシアター等の表現方法を身に付け、発表することができる。⑤ B(良)①②③④⑤、C(可)①②③⑤

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 「児童文化財」について 学習する。 (藤井/中西)	講義・質疑応答 児童文化財について 学習したことについて 発表後	授業内容・評価等について 理解できる。 児童文化財の活用方法 について理解できる。	復習 保育教材の活用・制作の ポイントについて復習しておく こと。	45	傾聴力 規律性
2週 /	人形劇の概要 人形劇を見る・「お話」を 作る。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習後	人形劇を見ることにより、 実践技術方法や保育と子ども との関係性が理解できる。	復習 人形劇の実践技術の ポイントをまとめておく こと。	45	主体性 創造力 規律性
3週 /	人形制作(1) 片手使い人形を制作する。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	片手使いの人形の制作 方法を理解でき、計画 表に従い作り始めること ができる。	復習 片手使いの人形の 完成を目指して作ること。	45	主体性 実行力 規律性
4週 /	人形制作(2) 片手使い人形を制作する。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	片手使いの人形の完成 を目指して作ることができる。	復習 片手使いの人形の 完成を目指して作ること。	45	創造力 規律性
5週 /	人形制作(3) 人形の活かし方・演じ方を 学ぶ。人形を制作する。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	効果的な人形の操作 方法を身につけ、互いの 技術の向上を図ること ができる。	復習 片手使いの人形の 完成を目指して作ること。	45	主体性 創造力 規律性
6週 /	人形制作(4) 人形の活かし方・演じ方を 学習する。発表準備。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	効果的な人形の操作 方法を身につけ、互いの 技術の向上を図ること ができる。	復習 人形の演じ方を 練習すること。	45	創造力 規律性
7週 /	人形制作(5) 発表上演を実施する。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習後	自分で作った人形で 発表上演することができる。 また人前で演じる楽しさ や面白さを理解できる。	復習 発表の振り返りを行 い、より良い活かし 方を見つけること。	45	発信力 傾聴力 規律性
8週 /	シアタースタイルの文化財 パネルシアターの概要 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後、 フィードバックする。	パネルシアターを見 ることにより、実践技 術方法や保育と子ども との関係性が理解でき る。	復習 パネルシアター の実践技術のポイ ントをまとめておく こと。	45	傾聴力 主体性 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	パネルシアターの制作(1) 昔話の特徴を理解する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後	昔話の特徴を説明できる。	復習 制作する作品を決めておくこと。	45	主体性 創造力 計画力
10週 /	パネルシアターの制作(2) シナリオを書く。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後	パネルシアターの制作方法を理解し、シナリオを書くことができる。	復習 演習で学んだことをまとめておくこと。	45	主体性 実行力 規律性
11週 /	パネルシアターの制作(3) パネルシアターの魅力を学び制作する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後	パネルシアターの制作方法を理解でき、作品を作り始めることができる。	復習 パネルシアターの完成を目指して作ること。	45	主体性 創造力 規律性
12週 /	パネルシアターの制作(4) 演じ方を学習する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後	効果的なパネルの操作方法を身につけ、技術の向上を図ることができる。	復習 演習で学んだことをまとめておくこと。	45	創造力 発信力 規律性
13週 /	パネルシアターの制作(5) 演じ方を学習する。発表準備。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後	効果的なパネルの操作方法を身につけ、発表の技術の向上を図ることができる。	復習 パネルシアターの演じ方を練習すること。	45	創造力 計画力
14週 /	パネルシアターの制作(6) 発表上演を実施する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後	自分で作った作品で発表上演することができる。また、人前で演じる楽しさを理解できる。	復習 発表の振り返りを行い、より良い活かし方を見つけること。	45	発信力 実行力 規律性
15週 /	全体のまとめ 全体のまとめと振り返りを行う。 (藤井/中西)	巡回指導で対応 講義・演習後、 フィードバックする。	学んできたことの振り返りを行う。	予習 今までの学習の振り返りを行っておくこと。	45	主体性 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力